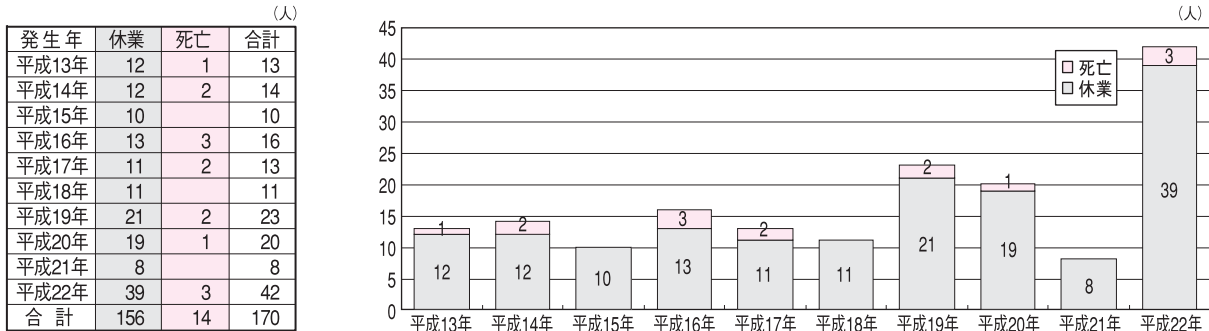


熱中症を防ごう！

愛知労働局健康課
名古屋北労働基準監督署

毎年、梅雨明けの時期になると、日差しが急に強くなり、この時期には急激な環境温度の変化に身体が対応しきれずに、熱中症が発生しています。愛知県内では就業中の熱中症により、過去10年間で14人、平成22年には3人が死亡しています。これら熱中症を防ぐためには、関係者が熱中症に対する十分な認識を持つことが重要です。また、暑さによるふらつき、疲労の蓄積等による労働災害のおそれもあることから注意が必要です。

愛知における年別熱中症発生状況【休業4日以上労働災害】

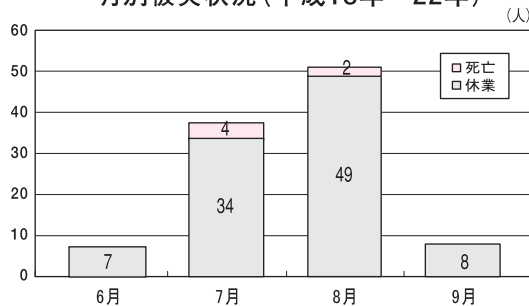


注) 平成22年数字は平成23年3月末日までに報告された途中集計である。

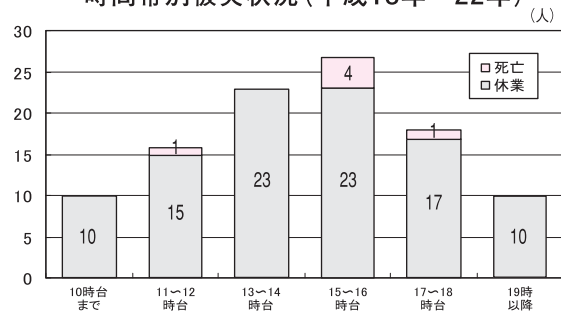
愛知局管内における発生状況

(平成18年～22年)

月別被災状況(平成18年～22年)



時間帯別被災状況(平成18年～22年)



年	6月	7月	8月	9月
18年	1	1	8	1
19年	1	1	14(2)	5
20年	0	15(1)	4	0
21年	2	3	3	0
22年	3	14(3)	20	2
合計	7	34(4)	49(2)	8

年	10時台まで	11～12時台	13～14時台	15～16時台	17～18時台	19時以降
18年	0	3	4	2	1	1
19年	4	2(1)	5	5(1)	5	0
20年	1	5	3	8(1)	2	0
21年	1	0	0	3	2	2
22年	4	5	11	5(2)	7(1)	7
合計	10	15(1)	23	23(4)	17(1)	10

() 内は死亡災害で外数。右表も同じ。統計データは労働者死傷病報告による休業4日以上労働災害を集計。

夏場気分が悪くなったら、まず、**救急車**を呼ぶ。待機中に涼しい場所へ移し、**衣服をゆるめ安静にさせ、スポーツドリンク**を飲ませる。



◆ 救急措置 ◆

万一、熱中症が起こったら、まず、救急車を呼び涼しい場所で、衣類をゆるめて安静にさせ、スポーツドリンクを与えます。死亡例をみると医師に見てもらわなかった例が多くみられます。

熱けいれんでは、なるべく早く食塩も与えます。

熱疲労(熱虚脱・熱痲はい)では、足を高く上げて寝かせ、手足の先から中心部に向けてマッサージし、医療機関に早めに受診させます。このとき同行者は仕事内容や発症の経過についてよく説明して下さい。

熱射病では全身に冷水をかけて風を送るなどあらゆる方法で身体を冷却し、意識や呼吸状態を確認しつつ一刻も早く救急病院に搬送します。もし、氷やアイスパックがあれば、首、わきの下、もものつけねなど、太い血管の上を冷やすのが効果的です。

熱疲労では、足を高く上げて寝かせ、手足から体の中心部に向けてマッサージする。



熱けいれんでは、なるべく、早く**塩分**を与える。



熱射病では、全身に冷水をかけて風を送るなど身体を冷やし、一刻も早く病院へ搬送する。

* 氷やアイスパックなどがあれば、首、わきの下、もものつけね等、太い血管の上を冷やす。



平成23年度全国産業安全衛生大会 ご案内

開催期間 10月12日(水)～14日(金)
 総合集会 10月12日
 分科会 10月13日・14日
 会場 東京国際フォーラム(東京都千代田区)ほか
 参加費 一般一名 12,500円(消費税込)
 申込期限 23年9月28日(水) 申込書必着
 申し込み先 中央労働災害防止協会教育部企画課
 (☎03-3452-6402)

なお、上記の案内書・参加申込書は当協会総合受付にございます。

☎052-961-1666

労働者の熱中症の防止に十分のご配慮を

名古屋北労働基準監督署

今年は大震災の影響で電力不足が懸念されています。事務所や作業場所の冷房設定温度を上昇させることが予想されます。その際、労働者の熱中症の防止に十分配慮してください。

熱中症の予防には、職場におけるWBG T指標の活用、作業環境管理、作業管理、健康管理等ですが、労働者の自己管理も重要です。